

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理・歴史 科目 地理総合

教科：地理・歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：渡邊 英就）

使用教科書：（地理総合 世界に学び地域へつなぐ 二宮書店）

教科 地理・歴史 の目標：世界の人々の営みを知ること、人類がより良く生きていくことを学んでいく

【知識及び技能】地理、歴史の基礎的事項を理解し、資料を読み解く力を伸ばす。

【思考力、判断力、表現力等】地理/歴史事項、資料を読み解く力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 球面上の世界 【知識及び技能】 地球のとらえ方、図法、時差を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 位置、方位、距離、時差を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や時差に関することを自ら学び取ろうとしている。	・指導事項 地図、時差の理解 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 等 Google Earth	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワーク、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業アンケートでの振り返り ワークシート	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 国内や国家間の結びつき 【知識及び技能】 国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 国家の領域、日本の位置と領土問題 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 等 Google Earth、検索サイト	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワーク、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業アンケートでの振り返り ワークシート	○	○	○	8
	C 単元 日本の位置と領域 【知識及び技能】 外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して、日本と諸外国との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説 定期考査	・指導事項 国家間の結びつき、地図の活用 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 等 地理院地図	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワーク、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワーク	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	A 単元 地形と生活文化 【知識及び技能】 地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉 定期考査	・指導事項 大地形（侵食平野、堆積平野、その他の地形） ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 等 地理院地図	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワーク、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業アンケートでの振り返り ワークシート	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 気候と生活文化 【知識及び技能】 大気の大循環と海洋に起因した大気のおくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できる。 定期考査	・指導事項 ケッペンの気候区分（熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯） ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 等 地理院地図	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワーク、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業アンケートでの振り返り ワークシート	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
C 単元 宗教・言語と生活文化 【知識及び技能】 世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 世界宗教と民俗宗教の分布や起源などの基礎的内容。 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 ワーク、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業アンケートでの振り返り	○	○	○	17	

3 学 期	生活と宗教の関わりについて地域 性や歴史的背景をもとに捉え、資料	地理院地図	ワークシート				
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

教科・科目	地理歴史科・歴史総合					単位数	2 単位		
						対象学年	2 学年		
担当者	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	宇田川	宇田川	宇田川	嘉藤	嘉藤	嘉藤	嘉藤	嘉藤	
教科書	実教出版 歴史総合								
補助教材	浜島書店 新詳 歴史総合、実教出版 演習ノート								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	近代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。			地理や歴史にかかわる事象の意味や意義を複数の資料から多面的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養う。		地理や歴史にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を解決する態度を養う。			
科目の目標	近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、世界とそその中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。			近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決視野に考察することができる。		現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度や我が国の歴史、他国や他国の文化を尊重する態度を養う。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知思態	配当時数	
1 学期	近代化への胎動	知 18世紀の国際関係の基本的な知識を理解する。 思 18世紀の国際関係に対する間に歴史的な見方に基づいて思考できる。 学 単元の学習を適切に振り返り学習改善しようとしている。	17世紀以前のアジアの繁栄、ヨーロッパの海外進出、江戸時代の日本と東アジア秩序の変動	知 資料から多面的に考えられるか。 思 問に対して時間軸、空間軸から考えられているか。 態 自ら疑問を持ち問に自らの答えを出そうとしている。	〇〇〇	7			
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	知 産業革命と市民革命による社会の変化に関する知識を身に着けている。 思 産業革命や市民革命による社会の変化に関して歴史的な見方に基づいて思考できる。 学 日本の開国の経緯をヨーロッパの動きと関連させて考えようとする。	産業革命、アメリカ独立戦争、フランス革命、アヘン戦争と日本の開国	知 基本的な知識を複数の資料を活用しながら多面的に理解できているか。 思 問に対して時間軸、空間軸から考えられているか。 態 自ら疑問を持ち、答えを出そうとしている。	〇〇〇	7			
	中間考査				〇〇	1			
	欧米諸国と日本の国民国家形成	知 日本の国民国家の形成について理解する。 思 国民国家形成の過程を複数の根拠をもとに考察できる。 学	明治政府の諸改革、自由民権運動と大日本帝国憲法	知 欧米の主権国家体制の成立を踏まえて理解できているか。 思 問に対して時間軸、空間軸から考えられているか。 態	〇〇〇	8			
	帝国主義の時代	知 日本が帝国主義をとっていく過程を理解できる。 思 戦争や産業革命について立場の違いを踏まえて多面的に考えられる。 学 日本が帝国主義に至る過程に疑問、関心を持ち調べようとする。	日清戦争、日露戦争、日本の産業革命	知 日本が帝国主義をとっていく過程を世界情勢を踏まえて理解できる。 思 戦争や産業革命について、多面的に考え、総合的な意見を表現できる。 態 問に関して粘り強く自らの答えを出そうとする。	〇〇〇	7			
	期末考査				〇〇	1			

2 学期	第一次世界大戦	<p>知 世界大戦の経緯、戦争による国際関係の変化について理解する。</p> <p>思 世界大戦と日本の動きについて時間軸、空間軸で考えられる。</p> <p>学 世界大戦の経緯、結果について関心を持つ。</p>	<p>第一次世界大戦、ロシア革命、ヴェルサイユ体制とワシントン体制</p>	<p>知 世界大戦の経緯、戦争による国際関係の変化について資料を活用して理解</p> <p>思 世界大戦と日本の動きについて時間軸、空間軸で考え表現できる。</p> <p>態 世界大戦がもたらした影響について疑問を持ち、調べられる。</p>	〇〇〇	8
	大衆社会	<p>知 社会運動や普通選挙が実現する経緯を理解する。</p> <p>思 社会運動や普通選挙が実現する経緯について資料から考察できる。</p> <p>学 社会運動や普通選挙が実現する経緯について疑問を持ち考察できる。</p>	<p>広がる社会運動と普通選挙の実現</p>	<p>知 普通選挙運動が生まれた経緯を空間軸と時間軸から理解する。</p> <p>思 社会運動や普通選挙が実現する経緯について複数の資料から考察できる</p> <p>態 社会運動や普通選挙が実現する経緯について主体的に疑問を持ち考察で</p>	〇〇〇	7
	中間考査				〇〇	1
	世界恐慌	<p>知 世界恐慌の世界と日本における影響について理解できる。</p> <p>思 世界恐慌への各国の解決策や日本への影響を考察できる。</p> <p>学 日本が世界大戦に至る経緯に興味・関心を持てる。</p>	<p>世界恐慌、満州事変と軍部の台頭</p>	<p>知 世界恐慌の影響を資料を活用して多面的に理解できる。</p> <p>思 世界恐慌への影響を複数の資料を基に考察できる。</p> <p>態 世界大戦に至る経緯に自ら疑問を持ちその解決に粘り強く取り組むこと</p>	〇〇〇	7
	第二次世界大戦	<p>知 国際連合成立の経緯、意義について理解できる。</p> <p>思 国際連合の意義、日本国憲法の成立の経緯について考察できる。</p> <p>学 日本国憲法の内容、成立の経緯、現代的な役割について興味関心を持つ</p>	<p>国際連合の成立、冷戦、日本占領と日本国憲法</p>	<p>知 資料を活用して国際連合成立の経緯、日本の占領政策について理解できる</p> <p>思 国際連合の意義、日本国憲法の成立の経緯について複数の資料から考察</p> <p>態 日本国憲法の成立の経緯について興味を持ち考えることができる。</p>	〇〇〇	8
期末考査				〇〇	1	
3 学期	冷戦と脱植民地	<p>知 植民地の独立や日本の高度経済成長の経緯について理解できる。</p> <p>思 植民地の独立や日本の高度経済成長の経緯について複数の資料から考察</p> <p>学 植民地の独立等について自ら歴史的な問を持ち解決に向けて調べようと</p>	<p>植民地の独立、高度経済成長</p>	<p>知 植民地の独立や日本の高度経済成長の経緯について資料を活用して理解</p> <p>思 複数の資料を活用して植民地の独立の過程を時間軸、空間軸で考えられる</p> <p>態 自らの問に対し粘り強く調べることができる。</p>	〇〇〇	7
	多極化する世界	<p>知 石油危機や冷戦の終結等現代にもつながる諸課題について多面的に理</p> <p>思 石油危機の発生の経緯やその後の影響などを資料を使って考えることが</p> <p>学 石油危機などが現代に与えている影響について興味・関心を持つことが</p>	<p>石油危機、冷戦の終息、日本の経済大国化</p>	<p>知 複数の資料を活用しながら石油危機や冷戦終結の過程とその影響について</p> <p>思 複数の資料を活用して多面的に考察を深めることができる。</p> <p>態 自ら疑問を持ち、それについて粘り強く取り組むことができる。</p>	〇〇〇	7
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

年間授業計画

板橋 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科： 公民 科目： 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：小川 曜氏 2組～8組：中川 清敬）

使用教科書：（公共（実教出版））

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	社会を作る私たち 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	青年期 自己形成の課題 倫理 職業生活と社会参加 伝統文化と私たち	【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしているか。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	政治：他者とともに生きる 【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めさせる。	民主国家の基本原則 民主政治の成立 民主政治のしくみと課題 世界の主な政治制度 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本的性格	【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めているか。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>政治：日本国憲法の基本的性格</p> <p>【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。</p>	<p>自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権・請求権 新しい人権 人権の広がりや公共の福祉 平和主義と防衛問題 日本の政治機構と政治参加</p>	<p>【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>経済</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済に関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。</p>	<p>経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場 企業 経済成長 金融・財政 現代の経済問題</p>	<p>【知識・技能】 現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解し、基本的知識を正しく身につけたか</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>国際：国際政治の動向と課題 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 国際政治、国際経済について理解させる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 他国との協力を抜きに生活できない理由について考えさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 他国とどのように良好な関係を保っていくか考えさせる</p>	<p>国際政治の動向と課題 国連と国際協力 国際経済の動向と課題 貿易・外国為替 南北問題</p>	<p>【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか</p> <p>【思考・判断・表現】 社会問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

教科・科目	世界史探究					単位数	3単位		
						対象学年	3学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
教科書	『世界史探究』実務教育出版								
補助教材	『アカデミア世界史（時代と地域の羅針盤）』浜島書店								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	地理・歴史の基礎的事項を理解し、資料を読み説く力を伸ばす。			地理・歴史の基礎的事項を踏まえ、資料を読み説く力を培うとともに、自らの研究内容を相手に伝わるよう創意工夫する力を育む。		現代における諸事象が地理的・歴史的的分野に関わりがあることに気付かせ、より良い社会を実現させるため主体的に追求使用とする力を伸ばす。			
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。			世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	世界史へのまなざし	知	人類の進化の過程を理解させる。	・人類の起源をめぐって ・人類の進化	知	人類の誕生の歴史を理解している。	〇〇〇	5	
		思	人類の進化の特性と過程を考察させる。		思	人類の進化の特性を考察し表現している。			
		学	人類の進化の特性と過程について、主体的に理解させる。		態	人類の進化の特性と過程について、主体的に理解を深めようとしている。			
	古代文明	知	古代文明の歴史的特質を理解させる。	・濃厚と牧畜のはじまり ・オリエント文明 ・インダス文明 ・中国文明	知	古代文明の歴史的特質を理解している。	〇〇〇	10	
		思	古代文明の歴史的特質を考察させる。		思	古代文明の歴史的特質を考察している。			
		学	古代文明の歴史的特質について主体的に理解させる。		態	古代文明の歴史的特質について主体的に理解を深めている。			
中間考査					〇〇	1			
中国文明 春秋戦国時代 中国古代帝国	知	春秋戦国時代の経済的発展と国際状況を理解させる。	・春秋戦国時代 ・中国古代帝国 ・朝鮮と日本	知	春秋戦国時代の経済的発展と国際状況を理解している。	〇〇	13		
	思	秦・漢がどのように中華統一を行ったかを考察させる。		思	秦・漢がどのように中華統一を行ったかを考察できる。				
	学			態					
中央ユーラシアの国家形成 胡漢融合帝国の誕生	知	アジア・奥州を結ぶ道とそこに暮らす遊牧民について理解させる。	・スキタイと匈奴 ・魏晋南北朝時代 ・隋、唐と周辺民族	知	アジア・奥州を結ぶ道とそこに暮らす遊牧民について理解する。	〇〇〇	13		
	思	中央アジア・モンゴル高原における遊牧民の攻防とその背景を考察させる。		思	中央アジア・モンゴル高原における遊牧民の攻防とその背景を考察する。				
	学	中華と周辺国が融合し、胡漢融合帝国が誕生したことの理解を深める。		態	中華と周辺国が融合し、胡漢融合帝国が誕生したことを主体的に理解する。				
期末考査					〇〇〇	1			

2 学期	南アジアと東南アジア	知 仏教の成立とヒンドゥー教、諸国家の展開などを理解させる。	・インド古典文化の形成 ・古代の東南アジアと海のシルクロード	知 仏教の成立とヒンドゥー教、諸国家の展開などが理解できる。	〇〇〇	7
		思 仏教の成立とヒンドゥー教、諸国家の展開などを考察し表現させる。		思 仏教の成立とヒンドゥー教、諸国家の展開などを考察し表現する。		
		学 南アジアと東南アジアの歴史的特質についての課題を主体的に考察できるよ		学 南アジアと東南アジアの歴史的特質についての課題を主体的に考察できる。		
	西アジアと地中海周辺	知 西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な知識を理解させる。	・オリエントの統一 ・ギリシア文明 ・ヘレニズム時代 ・ローマ帝国 ・西アジアの国々と諸宗教	知 西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な知識を理解できる。	〇〇〇	15
		思 西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な問に対して判断させる。		思 西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な問に対して判断してい		
		学 西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な問に対して主体的に考察		学 西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な問に対して主体的に考察		
中間考査				〇〇	1	
西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	知 キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などの基本	・ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ・ラテン=カトリック圏の形成と展開 ・イスラーム圏の成立	知 キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などの基本	〇〇〇	15	
	思 キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などに関する		思 キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などに関する			
	学 キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などに関する		学 キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などに関する			
イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	知 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開な	・イスラーム圏の多面化と展開 ・ラテン=カトリック圏の拡大 ・ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容	知 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開な	〇〇〇	15	
	思 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開な		思 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開な			
	学 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開な		学 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開な			
期末考査				〇〇	1	
3 学期	中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	知 モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など、交流の広がりに関する基本的	・中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 ・モンゴル帝国の成立 ・東南アジア諸国の再編 ・海域世界の展開と大交易圏の成立	知 モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など、交流の広がりに関する基本的	〇〇	8
		学 モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など、交流の広がりに関する間に対		学 モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など、交流の広がりに関する間に対		
		知		知		
	思	思				
	学	態	〇〇〇			
期末考査				〇〇		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	地理歴史・日本史探究					単位数	3単位		
						対象学年	3学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	新村	新村	新村	新村	新村	新村・嘉藤	嘉藤		
教科書	『日本史探究』実務教育出版								
補助教材	『(歴史写真館)日本史のアーカイブ』とうほう								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	地理・歴史の基礎的事項を理解し、資料を読み説く力を伸ばす。			地理・歴史の基礎的事項を踏まえ、資料を読み説く力を培うとともに、自らの研究内容を相手に伝えるよう創意工夫する力を育む。		現代における諸事象が地理的・歴史的な分野に関わりがあることに気付かせ、より良い社会を実現させるため主体的に追求使用とする力を伸ばす。			
科目の目標	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。			日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。		歴史(日本史・世界史)は人が作る、人の営みが歴史を彩っていく、という基本を忘れずに単なる暗記科目ではなく、歴史の局面における決断や行動によって歴史が作られていくことを理解できるように授業が望ましい。そのためには生徒自らが考え、調べ、まとめていく作業が不可欠になるし、また授業の成否にもかかわってくる。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数	
1学期	日本文化のあけぼの	知	・旧石器文化 ・縄文文化 ・弥生文化	知 思 態 出席・ノート・ワーク	知 思 態 出席・ノート・ワーク	〇〇〇	11		
		思							
		学							
	ヤマト政権の成立と古墳文化	知	・ヤマト政権 ・大化の改新 ・日本の成立	知 思 古代文明の歴史的特質を考察している。 態 出席・ノート・ワーク	知 思 態 出席・ノート・ワーク	〇〇〇	11		
		思							
		学							
中間考査	原				〇〇	1			
律令国家の形成	知	・奈良時代 ・律令制度 ・公地公民制	知 思 態 出席・ノート・ワーク	知 思 態 出席・ノート・ワーク	〇〇〇	12			
	思								
	学								
古代の国家・社会の変容	知	・平安前期 ・平安中期 ・摂関政治	知 思 態 出席・ノート・ワーク	知 思 態 出席・ノート・ワーク	〇〇〇	12			
	思								
	学								
期末考査	奈良時代～平安時代(中期)				〇〇	1			

2 学期	荘園公領制の成立と院政	学	・平安後期 ・院政 ・荘園公領制	知	〇〇〇	12
		思		思		
		学		態 出席ノート・ワーク		
	中世の国家・社会の展開	知	・平氏政権 ・鎌倉時代 ・式目と武家法	知	〇〇〇	13
		思		思		
		学		態 出席・ノート・ワーク		
	中間考査	平安時代（後期）～鎌倉時代				
中世の国家・社会の展開	知	・南北朝時代 ・室町幕府 ・戦国時代	知	〇〇〇	12	
	思		思			
	学		態 出席・ノート・ワーク			
東アジア世界の交流	知	・織豊時代 ・天下統一 ・鉄砲とキリスト教	知	〇〇〇	12	
	思		思			
	学		態 出席・ノート・ワーク			
期末考査	室町時代～織豊時代			〇〇		1
3 学期	受験対策	知 大学入学共通テスト対策	・ ・ ・	知 大学入学共通テスト対策	〇〇〇	6
		思 大学入学共通テスト対策		思 大学入学共通テスト対策		
		学 大学入学共通テスト対策		態 大学入学共通テスト対策		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
学		態				
期末考査	なし			〇〇		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	地理探究					単位数	2単位		
						対象学年	3学年		
担当者	地探A								
	渡邊 英就								
教科書	新詳 地理探究 帝国書院								
補助教材									
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べることができる。			地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。		地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			
科目の目標	地理的諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。			地理的諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりできる。		地理的諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深めることができる。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数	
1 学期	地形	知 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因	地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかをとらえさせる。	地形には、どのような特徴や成因	知 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因	○○○	6		
		思 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因						態 地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に	
	気候	知 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生ま	気候の違いは、どのような要因で生まれるのか、また、人々の生活にどのような影響を与えているのかをとらえさせる。	知 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生ま	知 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生ま	○○○	9		
		思 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生ま						態 気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に	
	農林水産業	知 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農	農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのかをとらえさせる。	知 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農	知 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農	○○○	9		
思 自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農		態 農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主							
資源・エネルギー	知 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー	資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するための方策を考えさせる。	知 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー	知 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー	○○○	7			
	思 これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー						態 資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられ		
	期末考査					○○	1		

2 学期	工業	知 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はど	世界の工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのかを捉えさせる	知 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はど	○○○	9	
		思 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はど		思 さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はど			
	交通・通信	知 社会や経済を大きく変化した交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域	交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れているのかを捉えさせる。	知 社会や経済を大きく変化した交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域	○○○	5	
		思 社会や経済を大きく変化した交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域		思 社会や経済を大きく変化した交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域			
	エネルギー・鉱産資源	知 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどの	世界のエネルギー・鉱産資源の分布には、大きな偏りがあることやエネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用されているのかを捉	知 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどの	○○○	7	
思 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどの		思 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどの					
貿易と経済圏	知 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているの	世界の貿易は拡大を続けているが、地域性や地域間格差が現れてきていることについて、理解・考察する。	知 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているの	○○○	6		
	思 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているの		思 拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているの				
期末考査				○○	1		
3 学期	民族・宗教と民族問題	知 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背	民族や宗教の独自性はどのようにとらえることができ、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているかを捉えさせる	知 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背	○○○	5	
		思 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景		思 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背			
	国家の領域と領土問題	知 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領	領域が定められたり、その領域が変更されたり、国家が新たに誕生したりすることで、どのような問題が起こっているのかを捉えさせる。	知 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領	○○○	5	
思 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領		思 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領					

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	世界史探究演習					単位数	2単位		
						対象学年	2 学年		
担当者	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	
教科書	『世界史探究』実務教育出版								
補助教材	『アカデミア世界史（時代と地域の羅針盤）』浜島書店								
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標	地理・歴史の基礎的事項を理解し、資料を読み説く力を伸ばす。			地理・歴史の基礎的事項を踏まえ、資料を読み説く力を培うとともに、自らの研究内容を相手に伝わるよう創意工夫する力を育む。			現代における諸事象が地理的・歴史的的菜分野に関わりがあることに気付かせ、より良い社会を実現させるため主体的に追求使用とする力を伸ばす。		
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。また、問題演習を通して歴史的思考力を培う。			世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。			世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	大交易時代	知 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解させる。 思 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因など諸資料を学 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について、よりよい社会の実現を視			・明と東アジア ・ヨーロッパの海外進出 ・大交易時代の海域アジア	知 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解できる。 思 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因など諸資料を学 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について、よりよい社会の実現を視		〇〇〇	4
	近世ヨーロッパの形成と展開	知 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙 思 ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因を諸資料から読み解学 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について、よりよい社会の実			・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・激化する覇権競争 ・近世ヨーロッパの社会と文化	知 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙 思 ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因を諸資料から読み解学 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について、よりよい社会の実		〇〇〇	8
	中間考査							〇〇	1
	産業革命と大西洋革命	知 産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成 思 産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察・表現さ学 産業革命と環大西洋革命について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体			・イギリスの産業革命 ・南北アメリカの革命 ・フランス革命とナポレオン帝政	知 産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成 思 産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察・表現で学 産業革命と環大西洋革命について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体		〇〇〇	10
	近代ヨーロッパ・アメリカ国民国家	知 国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。 思 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因などを多面的・多角的学 国民国家と近代民主主義社会の形成について、よりよい社会の実現を視野に			・ウィーン体制と1848年の革命 ・19世紀後半のヨーロッパとアメリカ ・19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化	知 国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解できる。 思 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因などを多面的・多角的学 国民国家と近代民主主義社会の形成について、よりよい社会の実現を視野に		〇〇〇	10
	期末考査							〇〇	1

2 学期	地球を覆う帝国主義と世界諸地域の抵抗	知 世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解させる。	・ヨーロッパの帝国主義	知 世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解できる。	○○○	10
		思 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因などを多面	・アメリカの帝国主義	思 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因などを多面		
		学 世界市場の形成とアジア諸国の変容, 世界分割の進展とナショナリズムの	・西アジアの改革運動	学 世界市場の形成とアジア諸国の変容, 世界分割の進展とナショナリズムの		
	中間考査				○○	1
	第一次世界大戦と諸地域の変容	知 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。	・第一次世界大戦	知 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解できる。	○○○	10
思 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因などを	・ヴェルサイユ条約と国際体制	思 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因などを				
学 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野	・アジアのナショナリズム	学 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野				
第二次世界大戦と戦後の国際秩序	知 第二次世界大戦前の国際関係の緊張と対立を構造的に理解させる。	・世界恐慌とファシズム	知 第二次世界大戦前の国際関係の緊張と対立を構造的に理解できる。	○○○	10	
思 第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因などを	・満州事変と日中戦争	思 第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因などを				
学 戦間期における国際関係の緊張と対立について、よりよい社会の実現を視野	・第二次世界大戦・戦後の変革と冷戦のはじまり	学 戦間期における国際関係の緊張と対立について、よりよい社会の実現を視野				
期末考査				○○	1	
3 学期	冷戦と現代世界	知 集団安全保障と冷戦の展開、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争		知 集団安全保障と冷戦の展開、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争	○○○	4
		学 紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的		学 紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目	公民・政治経済探究					単位数	2 単位						
						対象学年	3 学年						
担当者	必選B	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組					
	中川												
教科書	実教703『最新政治・経済』												
補助教材	実教703『最新政治・経済』準拠演習ノート												
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等						
教科の目標	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。			国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。			よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。						
科目の目標	教科の目標に即しながら大学や公務員受験に対応する知識や技能を習得する。			教科の目標に即しながら大学や公務員受験に対応する思考力、判断力、表現力を得られるようにする。			教科の目標に即しながら大学や公務員受験に向き合える力を育成する。						
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数				
1 学期	現代日本の政治 1	知 政治について現実社会の諸事情を通して理解している	民主政治・国家・法 社会契約・各国の政治体制・憲法・政府・地方自治	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど				
		思 政治について多面的多角的に考察して表現している。								思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など
		学 主権を担う公として知識を主体的に深め諸課題の解決をしようとしている								態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物
2 学期	現代日本の政治 2	知 政治について現実社会の諸事情を通して理解している	選挙 世論	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど				
		思 政治について多面的多角的に考察して表現している。								思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など
		学 主権を担う公として知識を主体的に深め諸課題の解決をしようとしている								態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物
現代日本の経済	知 政治について現実社会の諸事情を通して理解している	経済活動・経済の変容 経済主体・市場・企業 国民所得・経済成長・金融・財政・為替	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど				
	思 政治について多面的多角的に考察して表現している。									思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など
	学 主権を担う公として知識を主体的に深め諸課題の解決をしようとしている									態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物
3 学期	現代の国際政治	知 政治について現実社会の諸事情を通して理解している		知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど	知 小テストなど				
		思 政治について多面的多角的に考察して表現している。								思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など	思 提出物・授業内での発表など
		学 主権を担う公として知識を主体的に深め諸課題の解決をしようとしている								態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物	態 出欠状況・提出物

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度